



□□『科学道100冊』～「知りたい!」が未来をつくる～□□

世界は謎だらけ。 人生は壁だらけ。
未知に挑戦し続ける科学者たちの アタマとココロを覗いてみたら 生きるヒントに溢れていた。
前に進みたいすべての人に贈る 勇気と方法の科学道100冊
(科学道100冊委員会)

湖陵高校図書室 カウンター横の特設コーナーへ

はじまりは 疑問



不思議だと思うこと

これが科学の芽です

朝永振一郎

果てしない 収集



私は植物の愛人として

この世に生まれてきた

ように感じます

牧野富太郎



導かれた ルール



自然は曲線を創り、

人間は直線を創る

湯川秀樹

めくるめく 失敗

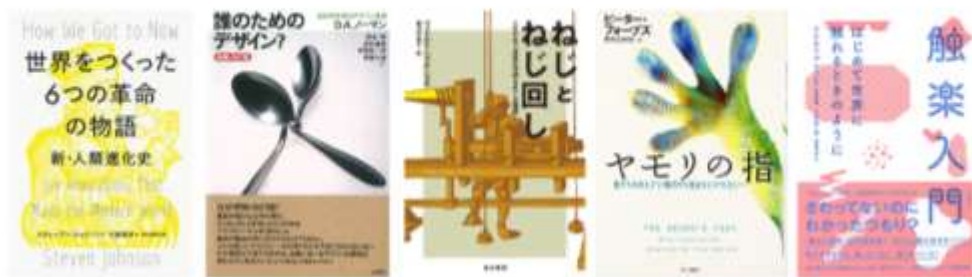


失敗?これはうまくいかない

ということを確認した成功だよ

トーマス・エジソン





知識には限界がある。

想像力は世界を包み込む

アルバート・アインシュタイン

未来のはじまり

未来を考えない者に、
未来はない
ヘンリー・フォード



□僕が読んだ本（SSH 推進部：渡邊）

- ・「センス・オブ・ワンダー」（レイチェル・カーソン 著）
感動できることが人間の素晴らしさだと思う。
- ・「寺田寅彦随筆集」（寺田寅彦 著）
科学者であり文豪と呼ばれている。
どの文章を読んでも物事の本質についており、とても多くの名言を残している物理学者。
「頭の良い人は恋ができない。恋は盲目だから。」
「自然現象の不思議には、自分自身の眼で驚異しなければならぬ。」
「疑うがゆえに知り、知るがゆえに疑う。」
「科学者になるには自然を恋人としなければならない。
自然はやはりその恋人にのみ真心を打ち明けるものである。」
「天災は忘れたところにやってくる。」
- ・「雪は天からの手紙」（中谷宇吉郎 著）
寺田寅彦に学び、実験物理学を志す。
北海道大学で人工雪の作成に世界で初めて成功した。 雪の結晶って美しいですね。
北海道大学低温科学研究所設立の礎を築いた。
- ・「ロウソクの科学」（ファラデー 著）
子どもたちへのクリスマスプレゼント。「クリスマス公演」の内容をまとめた本です。
優しく語りかけるような文章には、化学への愛が滲み出ています。
- ・「種の起源 上・下」（ダーウィン 著）
ダーウィンの緻密でありながら、スケールの大きい考察にはいつも驚かされます。
この論文をまとめていたダーウィンを取り巻く、歴史的な背景を知ること大切です。
「ビーグル号航海記」もおすすめです。

「科学道 100 冊」は、理化学研究所創立百周年事業として全国の SSH 校に贈呈されたものです。

100 冊の本からは、何かオーラのようなものを感じました。

科学道 100 冊委員会の皆様に、感謝申し上げます。